

食品トレー最大手エフピコは1年前に亡くなった創業者・小松安弘氏の銅像を作製、命日の23日に除幕式を行った。地元の枝広直幹・広島県福山市長ら参列者約60人は両手を掲げた懐かしいポーズで立つ像に對面、思い思いに故人をしのんだ。

エフピコ創業者 銅像お披露目 食品トレー最大手



小松氏は1962年に創業。色柄付きトレーの開発

故・小松安弘氏の銅像を除幕した佐藤エフピコ社長(右)

やリサイクル原料の活用、早期の物流ネットワーク構築を進め、同社の発展を支えてきた。佐藤守正社長は「情熱的だった故人をほう

ふつとさせる立派な像ができた」と涙ながらに語った。

